

第6学年 社会科学習指導案

学 級 6年4組 男子13名 女子16名 計29名
場 所 6年4組教室
授業者 三上 華枝

1 単元名 「平和で豊かな暮らしを目ざして」(教育出版6年上)

2 単元について

(1) 教材について

本単元は、学習指導要領第6学年の目標「(1) 国家・社会の発展に大きな働きをした先人の業績や優れた文化遺産について興味・関心と理解を深めるようにするとともに、我が国の歴史や伝統を大切にし、国を愛する心情を育てるようにする。」と、学習指導要領の内容「(1) ケ 日華事変、我が国にかかわる第二次世界大戦、日本国憲法の制定、オリンピックの開催などについて調べ、戦後我が国は民主的な国家として出発し、国民生活が向上し国際社会の中で重要な役割を果たしてきたことが分かること。」を受けて設定された単元である。

前単元「戦争と人々の暮らし」では、日本が戦争によって大きな被害を受けたこと、東アジア諸国に対して大きな損害を与えたことについて学んだ。本単元「平和で豊かな暮らしを目ざして」では、戦争に敗れた日本の復興について学んでいく。戦後、何も無い焼け野原の状態から20年足らずという短期間でオリンピックを開催するまでには、平和と豊かな生活を願って働き続けた国民の努力が不可欠であった。

本教材は、歴史学習の最後の単元として、今までの学習を比較・関連付け・総合して見たり考えたりし、平和を願う日本人としての態度を育むのに適した教材である。

(2) 児童について

児童の社会科に対する興味・関心は高い。社会科に関する事前調査によると、歴史の学習が好きだと答えた児童は9割程度であった。好きな理由は、「歴史に出てくる人物に興味があるから。」「歴史上の人物がしたことを調べるのが楽しい。」「今の社会がどのようにしてできたのか分かるから。」などが挙げられた。一方、あまり好きではないと答えた児童の理由としては、「何を調べたらいいのか分からない。」「戦いばかりで悲しくなる。」などが挙げられた。

人物中心の学習から、日本全体の動きを学ぶ学習になった前単元においても、学んだことを自分ごととしてとらえ、考えようとする様子が見られる。しかし、普通の授業では、資料を進んで読み取って発言する児童は少なく、何を調べ、何を発表したらよいか分からないという苦手意識をもっている。学び合いでは、教科書から分かったことを発表し、まとめや振り返りにおいて自分の考えをまとめられる児童が多いが、資料から読み取った事象をもとに考えを深められる児童は多くはない。

(3) 指導について

本単元では、当時の様子が具体的に分かるような写真や人々の話などの資料を提示し、どの子も課題意識をもって意欲的に学習できるようにしていく。また、予想から調べる視点を明確にしたり、家族への聞き取り調査を行ったりすることで、調べることに苦手意識をもっている児童も主体的に調べることができるようにしていく。学び合いでは、教科書や資料集から調べた事実だけでなく、その事実に関与した人々の苦労や願いについて考えられるよう、教師からの発問や資料提示を工夫することで個々の考えを深めていくことを目指したい。

そのために、「とらえる」段階では、写真から戦争が終わったころの暮らしの様子や人々の願いを調べ、敗戦後の焼け野原からどのようにして社会を立て直していったのかについて調べていく学習課題を設定する。

「たしかめる」段階では、日本国憲法の制定を中心とした様々な制度改革について調べ、日本がどのような国づくりを進めたのか考えさせたい。また、日本が独立を回復したことや戦後20年足らずで東京オリンピックが開催されたことなどを調べ、日本が国際社会に復帰した過程を理解させたい。このころ、産業や経済が急速に発展したこと、その発展により国民の暮らしが豊かに変わっていったことについて調べ、発問や資料提示を工夫することで、急速な発展の背景にある国民の苦労や努力、願いにも気づかせていきたい。

「まとめる」段階では、身に付けた力を発展させて、戦後の近隣諸国との関係や残された課題について調べ、現在やこれからの社会のあり方について考えることができるようにさせたい。

3 単元の目標と評価規準

観点	目標	評価規準
社会的事象への関心・意欲・態度	・我が国の戦後の歩みに関心をもち、進んで調べようとするとともに、これからの日本の課題や未来について考えようとする。	・我が国の戦後の復興の過程や諸外国との関係、人々の願いに関心をもち、進んで調べようとするとともに、現代の日本が抱える課題や、未来の日本のあり方について考えようとしている。
社会的な思考・判断・表現	・戦後、我が国が民主的な国家としてどのように変化してきたのか、また国際社会において果たしてきた重要な役割とこれからの日本について、考えたことを表現することができる。	・戦後の我が国の平和で民主的な国づくりと国民生活の変化、また国際社会において果たしてきた重要な役割とこれから世界の人々とどう関わっていくかについて思考・判断したことを適切に表現している。
観察・資料活用の技能	・写真や年表、地図、その他の基礎的資料を効果的に活用して、戦後の我が国の様子について、必要な情報を集めて読み取ったりまとめたりすることができる。	・写真や年表、地図、その他の基礎的資料を効果的に活用して、戦後の国づくりや国民生活の向上について、読み取ったりまとめたりしている。
社会的事象についての知識・理解	・戦後の我が国が民主的な国家として出発し、国民の努力によって国民生活が向上したことや、国際社会において重要な役割を果たしてきたことを理解することができる。	・戦後の我が国が平和で民主的な国家を築き、国民の努力によって国民生活が向上したことや国際社会において重要な役割を果たしてきたことを理解している。

4 指導計画（7時間）

段階	時	本時の目標	学習課題と主な学習活動	評価規準 観点【 】 方法（ ） 資料◆
とらえる	1	① 戦争が終わったころの暮らしの様子や人々の願いを調べ、戦後どのように日本が復興していったのかについて調べていく学習課題を設定することができる。	<p>・「終戦直後」と「現在の都市の様子」の2枚の写真と比較し、気付いたことを話し合う。</p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 戦後の日本は、どのように復興していったのだろう。 </div> <p>・終戦直後の人々の願いを話し合い、分類することで、次時からの学習の見通しをもつ。</p>	<p>・2枚の写真の比較や、資料の読み取りを通して、気付いたことや疑問に思ったことを発言している。</p> <p>【関・意・態】（発言・ノート） ◆終戦直後の東京（写真） 現在の東京（写真） 青空教室・買出し列車（写真）</p>
たしかめる	5	② 日本国憲法が制定され、さまざまな改革が進められていく過程を調べ、日本が目ざした新しい社会のあり方について考えることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 戦後、日本の社会はどのように変化していったのだろう。 </div> <p>・大日本帝国憲法と比較して日本国憲法の特徴を調べたり、戦後の様々な改革について調べたりする。</p> <p>・調べたことをもとに、日本がどんな社会を目指して再スタートをきったのか、考えを表現する。</p>	<p>・日本国憲法やさまざまな改革の内容をつかみ、戦後日本が目ざした国づくりについて理解している。</p> <p>【知・理】（発言・ノート） ◆大日本帝国憲法（一部） 日本国憲法（一部）</p>
		③ 日本が独立を回復したことや東京オリンピックが開催されたことなどを調べ、日本が国際社会に復帰した過程を理解することができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 日本でオリンピックが開かれるまでに、どのようなことがあったのだろう。 </div> <p>・オリンピック開催地一覧から、どんな国でオリンピックが開催されていたかを話し合う。</p> <p>・日本が独立して国際連合に加盟するまでの経緯を調べる。</p>	<p>・日本が独立を回復し、その後も東京オリンピックを開催するまでに国際社会での地位を向上させていった経緯を理解している。</p> <p>【知・理】（発言・ノート） ◆オリンピック開会式（写真）</p>
		④ 産業や経済が急速に発展した様子を調べ、それによって人々の暮らしがどのように変化していったのかを詳しく調べることができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 産業の発展によって、人々の暮らしはどのように変化したのだろう。 </div> <p>・高速道路の写真資料や「工業生産額」の変化のグラフを見て気付いたことや、疑問に思ったことを話し合う。</p> <p>・予想したことをもとに、資料を用いて調べる。</p>	<p>・資料を読み取ったり家の人から話を聞いたりして、経済が急速に発展したころの暮らしの変化について調べている。</p> <p>【技能】（発言・ノート） ◆工業生産額の変化（グラフ） 図書資料</p>
		⑤ 多くの国民の努力によって、産業の発展が実現したこと、それによって国民生活が向上したことを理解することができる。	<div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin: 10px 0;"> 産業の発展によって、人々の暮らしはどのように変化したのだろう。 </div> <p>・調べたことや、聞き取りで分かったことを発表する。</p> <p>・国民生活が豊かになった背景を考える。</p> <p>・集団就職について資料を読み、国民の努力に気づく。</p>	<p>・産業の発展や、国民生活が向上した背景には、多くの国民の努力があったことを考え、表現している。</p> <p>【思・判・表】（発言・ノート） ◆集団就職をした方のお話</p>
		本時		

		⑥ 戦後の近隣諸国との関係や残された課題について調べることができる。	<p>現代、日本と国際社会の間にはどのような課題が残されているのだろう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 韓国, 北朝鮮, 中国, ロシア, アメリカとの間にある領土問題や戦争被害の問題, 基地の問題について資料から調べる。 	<ul style="list-style-type: none"> 教科書から, 日本と近隣諸国との結びつきや, 残されている課題を読み取っている。 【技能】(発言・ノート) ◆北方領土の地図 日韓ワールドカップ(写真)
ま と め る	1	⑦ これまでの歴史学習を振り返り, 現在やこれからの社会のあり方について考えることができる。	<p>歴史学習を振り返り, 現在やこれからの社会について考えてみよう。</p> <ul style="list-style-type: none"> 歴史学習を振り返り, これからどんな社会になってほしいか話し合う。 そのためにできることや, 大切なことを自分の言葉でまとめる。 	<ul style="list-style-type: none"> 日本と近隣諸国との関係について, 現代やこれからの社会でどうしていくことがよいかについて考え, 表現している。 【思・判・表】(発言・ノート) ◆新聞の記事

5 本時の指導(5/7)

(1) 目標

産業の発展が実現し, それによって国民生活が向上した背景には多くの国民の努力があったことについて考え, 表現することができる。

(2) 評価と支援

評価の観点・評価規準	期待する児童の記述例	努力を要する児童への支援
【社会的な思考・判断・表現】 産業の発展や, 国民生活が向上した背景には, 多くの国民の努力があったことを考え, 表現している。	多くの国民の努力によって, 産業が発展し, 国民の暮らしは豊かで, 便利になった。	発問や板書をもとに, 国民の努力と国民生活の向上の関係を捉えることができるようにする。

(3) 研究とのかかわり

【学び合いを深める工夫】

- 「衣はどうでしたか。」「まとめると国民の暮らしはどう変化したと言えますか。」という発問や資料の提示をすることで, 電化製品, 食べ物, 住まいなどの暮らしの変化といった社会的事象の事実を捉えることができるようにする。
- 「なぜ, 国民の暮らしは豊かになったのか」という発問で, 産業の発展と, その背景にある多くの国民の努力を関連付けながら深く考えさせ, 社会的事象を深く捉えることができるようにする。

【表現する力を高める工夫】

- 産業の発展や国民生活の向上と, 労働と経済の関係性が分かる板書により, 進んでまとめを書くことができるようにする。
- 「中学生や若い人たちの頑張りを知ってどう思いましたか。」という発問や, 数名の児童の発表により, 多面的, 多角的に振り返りを書くことができるようにする。


(4) 前時について

前時では, 高速道路や洗濯機の写真資料や「工業生産額」の変化のグラフを見て気付いたことや, 疑問に思ったことを話し合い, 高度経済成長期の国民生活の変化について調べる課題を設定した。児童の予想を「交通・電化製品・衣食住」の視点に分類した。児童は, それぞれ教科書や辞典・図書資料, お家の方へのインタビューをして, 当時の様子を調べる学習を行った。

(5) 展開①

段階	学習活動	予想される児童の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・指導上の留意点<>評価 ○研究内容との関わり 【I】 資料
<p>とらえる</p> <p>25分</p>	<p>1 課題を把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・資料から分かることを発表する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線が通っている。 ・高速道路がある。 ・建物が増えた。 ・一気に生産額が上がった。 ・工業がさかんになっている。 ・たくさんの建物をつくったからだ。 ・洗濯機を珍しそうに見ている。 ・初めての洗濯機に喜んでいる。 ・家事が楽になるから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・【資】戦後の東京(写真) 開通した新幹線と高速道路(写真) 工業生産額の変化(グラフ) 洗濯機を見る人々・洗濯板(写真) ・終戦直後の日本にはなかったものに目を向けさせる。 ・高度経済成長期をおさえる。 ・資料を読み取った感想や、そこから生まれた疑問を課題につなげる。
<p>産業の発展によって、人々の暮らしはどのように変化したのだろうか。</p>			
<p>たしかめる</p> <p>20分</p>	<p>2 見通しをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・個人で予想をし、発表する。 ・予想したことを分類する。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新幹線が通って、早く遠くに行けるので便利になった。 ・高速道路で、移動が楽になった。 車を買う人が増えた。 ・電化製品が登場して、家事が楽になった。 ・戦後、お金がなかったが、豊かな国になった。 ・仕事がたくさんもらった。 ①交通 ②電化製品 ③食 ④住 	<ul style="list-style-type: none"> ・児童の予想を分類しながら板書する。 ・予想を分類し、調べ学習の見通しをもてるようにする。
	<p>3 自分の考えをもつ</p> <ul style="list-style-type: none"> ・産業の発展について調べる。 		<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれどんな資料があれば、調べられるか確認してから調べるようにする。 ・【資】教科書・図書館の本・聞き取り 「21世紀こども百科・歴史館」 ・電化製品や、住居のことについて、お家の人に質問できる人は、聞いてくるように伝える。

(5) 展開

段階	学習活動	予想される児童の反応	<ul style="list-style-type: none"> ・指導上の留意点<>評価 ○研究内容との関わり 【】 資料
とらえる 2分	<p>1 課題を把握する</p> <ul style="list-style-type: none"> ・前時に把握した課題を確認する。 <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 産業の発展によって、人々の暮らしはどのように変化したのだろう。 </div>		<ul style="list-style-type: none"> ・前時に分類した予想の観点を想起する。
たしかめる 20分	<p>2 学び合いをする</p> <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを発表する。 <ul style="list-style-type: none"> ・調べたことを整理し、国民の生活の変化について考える。 ・国民の暮らしが豊かになった理由について考える。 	<p>①交通…新幹線・自動車</p> <p>②電化製品…テレビ、洗濯機、冷蔵庫が普及。⇒「三種の神器」(1960年代に急激に広まっている。)</p> <p>③食…レトルト食品、インスタント食品、洋風な食事</p> <p>④住…クーラー・団地(台所・トイレ)超高層ビル</p> <p>⑤衣…洋服、既製品</p> <div style="text-align: center; margin: 10px 0;">  </div> <p>楽・便利・時間の余裕・豊か・洋風化</p> <p>⑥その他…公害が起こった。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・交通や工業が発展したから。 ・物が豊かになったから。 ・平和な国になったから。 ・国際社会に復帰したから。 ・みんなで一生懸命働いたから。 	<ul style="list-style-type: none"> ・予想で分類した観点に沿って調べたことを発表し、事実を捉えられるようにする。 【資】電気製品の普及(グラフ) お母さんの話 ○「衣はどうでしたか。」「まとめると国民の暮らしはどう変化したと言えますか。」等の発問や資料提示をすることで、電化製品、食べ物、住まいなどの暮らしの変化といった事実を捉えることができるようにする。 ・前単元の掲示を見ながら、戦中や、戦後すぐの様子と比較して考えることができるようにする。 ○「なぜ、国民の暮らしは豊かになったのか」と根拠を問う発問をし、産業の発展と、その背景にある多くの国民の努力を関連付けながら深く考えることができるようにする。
まとめる 23分	<p>3 まとめる</p> <ul style="list-style-type: none"> ・板書をもとにまとめる。 <p><評価Bの文例></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 多くの国民の努力によって産業が発展し、国民の暮らしは豊かで、便利になった。 </div> <ul style="list-style-type: none"> ・集団就職を経験した人の話を読み、感想を発表する。 <p>4 振り返る</p> <ul style="list-style-type: none"> ・感想を全体で交流する。 	<p>一生懸命働いた若い人たちがいたおかげで、国民の暮らしが豊かになった。</p> <p>若い人が故郷を離れて働いてくれたから今の暮らしがあると思った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・厳しい労働にも耐え、日本のために働いた中高生がいたことを初めて知った。 	<p><評価規準></p> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> 産業の発展や、国民生活が向上した背景には、多くの国民の努力があったことを考え、表現している。 </div> <p>【思・判・表】(発言・ノート)</p> <ul style="list-style-type: none"> ○産業の発展や国民生活の向上と、労働と経済の関係性が分かる板書により、進んでまとめを書くことができるようにする。 【資】集団就職(写真) 集団就職した人の話 ・資料から集団就職がどんなものかをおさえる。 ○「中学生や若い人たちの頑張りを知ってどう思いましたか。」という発問や、数名の児童の発表により、多面的、多角的に振り返りを書くことができるようにする。 ・B評価に達している児童には、戦中の暮らしや現代の暮らしと関連づけて書かせる。

